

# 第1回 田辺市立地適正化計画策定委員会 議事録

1、日時 令和8年2月6日（金）  
午後3時00分～午後4時50分

2、場所 田辺市役所本庁舎  
5階 オペレーションルーム

3、委員 出席15名、代理出席1名、欠席0名

## 4、議事

- (1) 委員会の概要と傍聴規程について
- (2) 立地適正化計画の概要について
- (3) 計画策定の進捗状況（現況・課題整理）について



## 5、委員の主な意見

- 公共交通の分担率が低い現状にあり、地域公共交通との連携・整合が必要である。
- 公共交通については、地域で非常に関心が高い課題である。バスの本数が少なかったり、移動に時間がかかったりと、自動車に乗ることができない住民の方は不便を感じている。
- 近年の動向としては、基本的に津波や洪水を避けることを前提に、建築費の高騰や高台の地価上昇を背景として郊外や市外へ転出する傾向に既にある。この動向を整理して住民の意向やトレンドを的確に把握し、将来住民が住みたいと思える都市構造を目指す必要があると思う。
- 新築動向調査では、平成28年以降に沿岸部での建築事例が示されているが、それらの物件の階高等の情報を調査整理してもらいたい。
- 小中学校が存在しない地域においては、住民が新たに住宅を建設する意向が低下する傾向にあるため、都市構造を評価する際には、学校の配置や生徒数の推移に関する議論が欠かせないことから、それらの情報を調査整理してもらいたい。
- 準都市計画区域内で住宅建設が進む一方であるが、法的な誘導区域を設定することはできない。しかし、任意の区域を検討するなど、計画に何かしらの位置づけは必要と考える。
- 昨今の動向は、あくまでも高台や郊外が中心であると実感している。この制度の中でコンパクトシティの形成や誘導区域の調整を行うことは簡単ではないと感じている。
- 人口が集中している地域が沿岸部から山側に移動している現状にあり、このままでは田辺祭りが存続できなくなるのではと危惧している。経済性や利便性だけではなく、市がこれまで築きあげてきた歴史・文化と共に、田辺で住む意味や豊かさについても考えながら検討していかなければならない。

## 6、今後の予定

委員の意見等を踏まえ、計画策定に向け取組を進めます。